

# ゆめみにゅーす



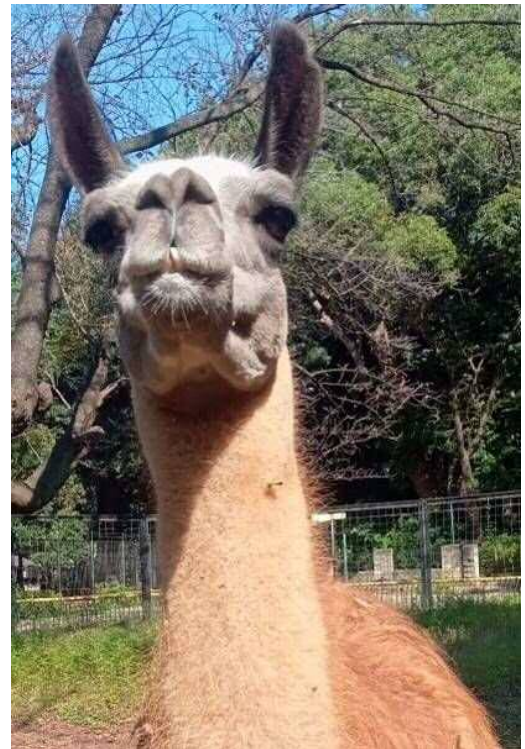
## YUMEMI ZOO



季刊 VOL. 66  
発行日 令和4年11月4日  
発行責任者 夢見ヶ崎動物公園  
問い合わせ 044-588-4030  
飼育展示数 哺乳類:24種154点  
鳥類:22種74点  
爬虫類:10種101点  
(令和4年10月末日現在)

### 最近の動物公園

気兼ねなく出かけられるようになるにはまだ時間がかかりそうなので、今回も動物たちの日常の一枚をお見せします。



### おしらせ

大勢が集まるイベントを開催しづらい情勢が続いており、毎年2回開催していた動物園まつりもしばらくお休みしている中、飼育員たちが撮った動物たちの動画を公開する試みを開始することにしました。動物たちの行動や体のつくり、飼育などに関する解説とともに楽しみいただけたらと思います。11月頃から順次公開予定です。詳細はFacebookやホームページなどでお知らせしていきます。楽しみに。

★当園は9月1日から医療機器の充実等を目的としたクラウドファンディングに挑戦しています。たくさんのご支援本当にありがとうございます。目標額達成後も11月29日まで挑戦を続けます。飼育動物のより健康・安全な飼育診療のために、ご協力のほどどうぞよろしくお願いいたします。

<https://www.furusato-tax.jp/gcf/1854>



\*公式フェイスブックはじめました。詳しくはこちらから。

## ★ピックアップ動物★

### フンボルトペンギン

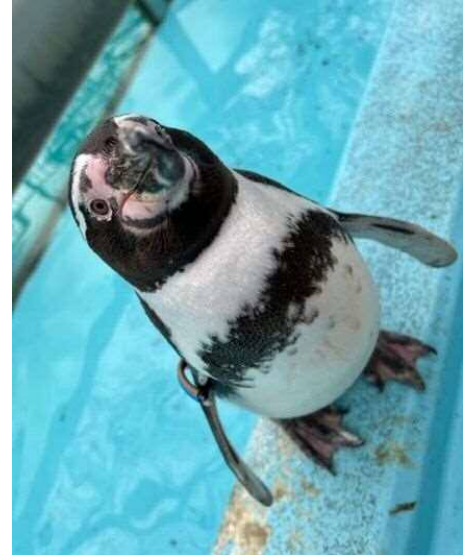
鳥綱 ペンギン目 ペンギン科

フンボルト海流の流れる南アメリカ沿岸に分布するペンギンで、野生では個体数が減少し絶滅が危惧されていますが、日本の動物園水族館では安定して繁殖させることができています。

原則としてつがいになった♂♀は繁殖期が終わってもそのまま関係を継続し、つがいの片方を何らかの理由で捕まえると大騒ぎで攻撃してくるなど、強い絆があります。

中にはその強い絆を1羽だけでなく、複数の相手と結んでしまう個体もいます。ある♂は午前と午後で別の♀と一緒に部屋で過ごし、部屋の外で♀同士がこの♂を巡って大喧嘩をすることもしばしば、♂は知らん顔して止めもしません。

野生動物には彼らのルールがあり非難はできない、ましてや擬人化してその感情を押し量るのは無意味ですが、当事者たちの穏やかではない様子を見ると様々なことを考えずにはいられません。

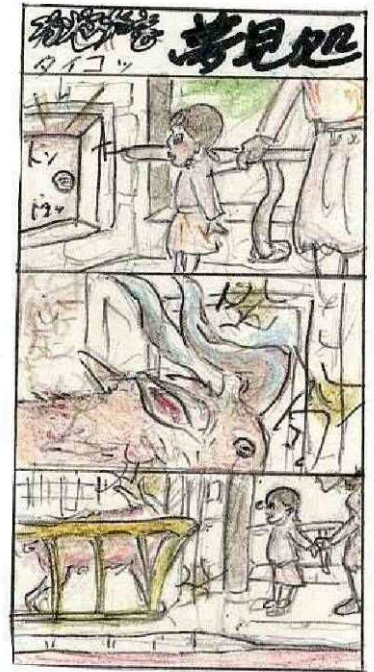


## 獣医の日記

動物園動物はヒトを見慣れており、野生動物と比べればヒトに慣れてはいます。時々勘違いされるのですが、「慣れている」だけであって「懐いている」というわけではありません。動物種、年齢によって多少異なり、個体差もありますが、見かけただけでは逃げない、餌をねだる、ということはあっても、家畜種ではない動物がヒトに身を任せたりまったく警戒せず弱みを見せたりすることはかなり稀なケースです。

先日、急に群れから距離を置き始めたホンシュウジカが1頭いました。群れから離れるというのは、群れから追われかねない理由がある、すなわち体調不良のサインであることがしばしばあります。私たちもすぐその個体をマークし、検査や治療も始めました。が、数日たたないうちに残念ながら死亡してしまいました。子宮に膿がたまり、腎不全も起こしていました。死亡するほんの30分前にはしっかり立って餌のニオイを嗅ぐ仕草も見せており、あたかも急死したように見えますが、そこはヒトに弱みを見せない動物です。ギリギリまで不調を隠していた可能性も大いにあります。

相手は弱みを隠すものという前提で、日頃の細やかな観察と引っ掛かるものに敏感である感受性、それらを鍛えるためなんでもない時の動物たちの観察などが、簡単なようで一番難しく、重要なことを痛感させられます。



### ★動物たちの主な移動(令和4年8月1日~令和4年10月31日)★

ホンシュウジカ(♂1 ♀1繁殖、♀1死亡)、プレーリードッグ(♀1死亡)、アメリカアカリス(♀5移動→上千葉砂原公園)、マーコール(♂2 ♀2死亡)